



令和7年度

幼稚園だより 5月号

文京区立小日向台町幼稚園

暖かな日差しの中で

園長 小岩井 聡

今年度がスタートして、約ひと月が経ちました。はじめはドキドキしたり、おうちの方と離れるのが寂しくて、泣いたりしている姿も見られた、たんぼ組の子どもたちですが、もうすっかり幼稚園にも慣れ、ニコニコ笑顔で、元気いっぱい遊んでいます。

進級した子どもたちも、新しいクラスにも慣れ、落ち着いて生活を進めています。先日行った避難訓練では、今年度初めてとは思えないくらい、しっかりと行動できていました。一つ大きくなって、バッジの色が変わった意識をもっていることが感じられます。

さて、5月と言えば、こいのぼり。玄関には兜も飾られました。端午の節句を迎える準備が各クラスでも着々と進んでいます。

ある日、私が学級の様子を見て回っていた時のこと。年長組がグループで相談しながらこいのぼりを作っていました。

こいのぼりの地の色やうろこの色の相談をして、それに合わせてツヤ紙を切り出していました。これをレイアウトして、こいのぼりに貼る時にもグループで相談をして、決めていくという活動になります。そこで大切なのは友達との意見を交わす「コミュニケーション能力」であったり、相手の意見を聴く力であったり、みんなの意見を集約する「調整力」であったり、みんなで作り上げる目的を共有し、みんなで取り組む「協同性」であったり、こいのぼり一つ作る中でも子どもたちにとっての学びは多くあります。そういった力を集団の中で発揮しながら、生活を進めていくことで主体性や自己肯定感なども育っていきます。

年少組も年中組も年齢に合わせて、自分のこいのぼりを作ろうとする意欲を育てたり、「のり」という新しい接着材の体験を経て、経験を広げたりとそれぞれのねらいをもちながら作っていきます。ぜひ、お家に持って帰ったり、園庭で泳いだりしているこいのぼりを見ながら、お子さんたちが頑張った姿と気持ちを受け止めてあげてください。

今後も幼稚園での生活の中で、子どもたちの成長にとって、より良い経験となる「遊び」を「子どもを中心」に進めていきます。今月もよろしくお願いたします。



今年も年長組がグループで作ったこいのぼりが園庭を泳いでいます！